

津和野ユビキタス観光ガイド実証実験

1. 目的

観光客の満足度向上に重要な役割を担う観光情報提供のあり方を調査するため、ユビキタス・ネットワーク技術を利用することにより、観光客のニーズに合わせた情報提供に関する実証実験を実施し、実用化に向けた課題の抽出と実用可能性の検討を行った。

2. 概要

(1) 実験期間

平成 16 年 9 月～平成 16 年 11 月

(2) 実験エリア

島根県津和野町全域

(3) 実験方法

携帯情報端末「ユビキタス・コミュニケーター」により津和野町の観光ポイントに設置した IC タグ及び赤外線マーカから信号を受信し、その観光ポイントに応じた観光情報の提供を行った。文字及びこれを合成音声により読み上げた音声、写真画像や動画等、その場に応じたコンテンツを用意した。駅前の観光案内所で観光ボランティアガイドを申し込むと、ボランティアガイドが携帯端末をガイドに利用した。



図1 ユビキタス・コミュニケーター



図2 IC タグと情報の読み取り



図3 IC タグスタンドの設置状況



図4 赤外線マーカの設置状況

3. 実験結果

ユビキタス技術を活用した観光ガイドは、観光客及び観光ボランティアガイドに好評で有効に活用できることが確認された。実験参加者から得た主な課題は主に以下のとおり。

< 情報コンテンツに関する事項 >

- ・見どころ味どころ（グルメ）などの紹介がほしい。
- ・案内図の地図が分かりにくかった。

< 機器に関する事項 >

- ・バッテリーの持続時間を延ばしてほしい。

< その他 >

- ・IC タグを設置してある場所が分かりにくい。